

磐城日報

発行所 磐城日報社
電話 (呼) 〇三八番
印刷 人丸山徳平
毎週水曜日休刊 購読料
一月三十四円 一月三十四円

平局一ヶ月の貯蓄 八千百余萬圓

市民一人二千四百圓貯蓄
普通が五十七万二千八百八千の確定でこの道路が出来れば一般の交通機関は小島部を通過する事となる
定期が二百五十万二千四百九十七圓、割増定期が百四十九萬六千九百九十三圓で合計五千五百四十四萬四千六百九十二圓となり預け入れ額からこの額を差引くと
昨年四月から本年三月迄に八千五百五十一萬一千三十一圓の年間同局の受入が六十八萬八千九百九十九圓高は普通貯蓄が九千六百九十九圓純然たる貯蓄となつた。二十五万二千四百七十七圓より市民は年寄りもまた積立が九百九十五万八千八百七十七圓と生れたばかりの赤四十一圓、定期が一十七万九千八百八十八圓、百五十二万五千八百八十八圓、割増定期が一十三萬二千二百二十二圓で合計一億と變化がないと窓口係りで三千六百九十五万六千六百九十圓
あよ金する人達は特定の人十圓
一方これに對する拂出しはにに限られてはいる譯である

新尼子橋今月完成

不要になる小島部落
堀江工業會社が鋭意工事をなぐ新しい道路は土木監督進められているモダンな新尼子所の手で目下盛んに埋立て橋假稱は大体今月中には完全に長橋地内の家屋移轉跡成される豫定で工を進めての整理が行はれてはいるが本を全部に贈呈するので多ていた。向緑化運動に因み改修中十四日から當分の間おり一方この橋と長橋をつの道路も五月末迄に竣工す數の参加者を要望している小川郷、澤渡、内郷の三

トラックで盗血む

植田町合町三無職豊田壽夫(三六)は昨十二日午前十時半頃全町界隈内に置いてあつた全町本町五一賣炭業小野保(五三)さん所有の軌道レール七二本時價三萬圓相當を盗みトラックで運搬茨城縣多賀郡平瀨町古物商某氏に賣却した所平瀨署員に逮捕され今十三日全町署より身柄を引取つた
衣類五品盗まると
好間村宇根木平農千葉龍治さん(全)方で十日夜家人の留守中タンスから衣類五品五千圓相當を盗まれた

「うづら丸」

小名濱港に配置
塩釜海上保安本部ではこんど小名濱に巡視船「うづら丸」百トンを配置、海の守りを一層強化する事とした

新川水門着工

平土木監督所では新川から古川への水路切替を機会に工費二百萬圓を投じて舊新川の河口約五十米上流附近に既報の如く水門を設けて洪水の際に夏井川の逆流を防ぐ事になり目下工事中で五月末迄には完成の豫定

十五日は「假裝行列」

個人、團體に賞を贈る
春祭行事の一駒として催す假裝競技會は来る十五日(日)午後二時より市役所前を主眼として行はれ参加者は事前に集合の上市内を一巡するが審査には店頭裝飾委員、商工研究競技委員、大垣隊長等があたり審査の結果
個人賞として、一等には千圓(一名)、二等五百圓(二名)、三等三百圓(三名)、四等二百圓(五名)團體賞に一等二千圓(一名)、二等千圓(二名)、三等五百圓(三名)、四等三百圓(五名)をそれぞれ贈る
向参加者に對しては手拭一着々好成绩を挙げつゝあり今一息の努力が必要だと語平製パンでは銀治町道路の改修中十四日から當分の間お客様の便をはかつて材木町

目標を突破

平の緑の羽根基金
去る一日より全国一齊に實施された国土緑化共同基金運動は各中、高等學生熱力のもとに各要所で行はれてはいるがきよ現在の平石城地域の實績に就て石城地方事務所林務課に尋ねた
平(目標額三萬九千圓)
泉(同四千七百二十三圓)
小名濱(同二千五百五十二圓)
一市一町一ヶ村でその他も着々好成绩を挙げつゝあり今一息の努力が必要だと語平製パンでは銀治町道路の改修中十四日から當分の間お客様の便をはかつて材木町

平市人 事

○出生
松本清太郎さん(二)女文字ちゃん(一)立町一〇
松崎三男さん(長女百合子ちゃん)平窪八田七七
猪狩弘さん(長男哲次ちゃん)一町目一九
原野一さん(三男哲夫ちゃん)南町二六
山崎善兵一さん(長男茂ちゃん)二町目三四
太田孝雄さん(長男孝安ちゃん)八幡小路四一
遠藤忠衛さん(三男義男ちゃん)鎌田四
○死
上原忠己ちゃん(二)堤ノ内一七
坂本さく子ちゃん(一)正内町八〇
鈴木千代子さん(三)銀治町七

◆本場自慢霜降牛肉◆

豚最上肉	110	円
豚徳用肉	90	円
丁目・中央通	79	円
ミドリヤ	53	円
・夜間御注	文は電	539

平四ツルヤ

製パンの出張賣店
平製パンでは銀治町道路の改修中十四日から當分の間お客様の便をはかつて材木町

平四ツルヤ

石城酒造株式會社

愛酒家 皆様!

酒の自由販賣以來各種の銘酒を御風味になり石城の酒が他地方の酒に優るにも劣らぬことがお判りの事と確信致します

本年は一層努力して全國一の備前米使用續々優良酒が吟醸されます

折もよし花時の四月から此酒が市場に御目見得致しております

愛酒家の皆様是非御風味を御願申上ます

断じて!!

皆様の御期待に背かぬと自負致しております

人氣の中心**文化展**

◇いよいよ明日開幕さる

綜合文化展はいよいよ明十ラマ等は必覽に價するもの
四日から平地區署會議室として早くも非常な人氣を
開かれる、多くの技術者、呼んでゐる尙公會堂で行は
職人らが心血を注いで飾られる天勝伊東マツノ嬢一行
つけた古代生物の大繪巻バの大奇術も同時に開幕され
ノラマ或はアメリカカ生活様
式を收入れた二十景のデオ

雨降りの手當等は 絶対支給されぬ

自勞に對する縣の態度

去る二日平土木監督所と内従い不勞に對する賃金は
郷町役場との電話連絡によ、絶體支拂はぬ方針に出たの
手違ひから内郷の日雇勞で結局二日の問題ばかりで
働者が仕事にアブレた事にな、今後自由勞組が要求す
就て「賃金を拂え」と再三内雨降りの日當は安定所
郷側に要求してゐる問題は關もまた關係市町村役場でも
係方面でも注目してゐたが全然取り合はぬ事にする模
最近縣では勞働省の意圖に様である

國庫補助住宅 五年間に六百十戸 平市に建設

ニシン値段
ますく下る一方

縣では本年度から五ヶ年計
畫で縣下の住宅難緩和に乗
り出すが平市の分は次の如
くである(融資による自力
建設は別)
△二十五年度(國庫補助に
漁は結局各地でニシンは
よるもの) 六〇戸 賣値百
△二十六年度(同) 六〇戸 五圓に下落して
△二十七年(同) 一四〇戸 からの輸送は連日活潑で
△二十八年度(同) 一五〇戸 森では既に一貫
△二十九年度(同) 二〇〇戸 大暴落を來して

知事、磐崎 村を表彰

磐崎村では二十四年度縣稅
調定額三百五万四千四百二十
九圓を一月三十一日に完納
したので十一日地方事務所
長から知事の表彰狀を傳達
された

鈴木委員長 假釋放て出所

平騒じよう事件に連座して
平刑務支所に收容されて
共産黨石城地、區委員鈴木
大外長井永雄、松本吉
村上俊夫の四被告は四月三
十日迄の期間付で十三日午
后五時假釋放された

永年勤續 幹部表彰

二十二日
平市公會
堂で開か
れる縣消防團長會議で幹部
永年勤續として左記三氏が
表彰される
湯本團長小井戸庄松(三十
年勤續)内郷部長草野泰一
(三十六年勤續)平分團長阿
部章(二十六年勤續)

二(東) 二(西)

●(茨城)多賀郡大津町漁
業家村山文太郎さん所有
トラツクに樫材を満載そ
れに漁夫、人、と八名

が乗つて十一日午後零時
半頃同郡華川村字上山地
内にさしかつた際道路
が悪かつた爲アツとい
う間に五メートル下の花
園川に轉落漁夫芳賀正君
(三)外三名は瀕死の重傷
その他四名の輕傷者を出
した

●(山形)最上郡大藏村永
松礦業所で十一日午前九
時頃倉庫から近くの鑛山
へ爆薬を運送中カ、ツ
ト千三百五十本が盜難驚
いて所轄署に届出たが捜
索の結果附近山林から四
百八十本だけは発見され
た残り更に探してゐる
とは實に物騒な話

★一字詰三十
行以内で建設
的意見の投
書を歓迎した
します(保)

心細い平市の 宣傳

松ヶ岡公園にボンボリも
つき、市内も三十米道路
の一部を残して戦前の線
迄復興した平市だから今
年あたりは相當に「平」を
宣傳してもよいと思ふの
だが一步平を離れると
「平」を宣傳したもの何
一つとして見當らない。
平市民の一人としてなん
となく心細い感じがする
宣傳には金がかかるがそ
れは當然だ、金をかけず
に人を招かうとしても無
理である。せめて立看板
かポスター位は常磐線の
各驛にかゝりたいもので
ある(平市一市民)

◆ とても楽しい ◆
11日ヨリ 22日マデ
三丁目のスプリングセール
抽籤は23日
御買上百圓毎に一等五千円
當る(五等マデ)お楽しみ
サクラくじ差上げます
三丁目商店會

◆ 店舗改装記念 ◆
春まつり 景品付 大賣出し
8日~19日
服地帯名
京や選
の春特
仕品
奉仕
三丁目
平電 256
かみや 衣料品の店

松ヶ岡の花に 競つて店内 櫻花満開
三層 不 衆食堂
平市駅前中央通り不ニストア一階上
電 8 8 6 番
晴雨御心配 なしのお花見

内科、小兒科
後藤醫院
放射線科
平市古鍛冶町7番地
縣社下 電話 1036番

就職の近道
珠算を覚える事
21、四月二十日開講
新制中學卒業以上年齢不問はす
開講時間 午後三時組、四時組
四時組、五時組
五時組、六時組
初歩の方特に歓迎 月謝百五十圓
當地方唯一・共進珠算塾
平市三丁目五二
ニュー・カス 學院
校舎内